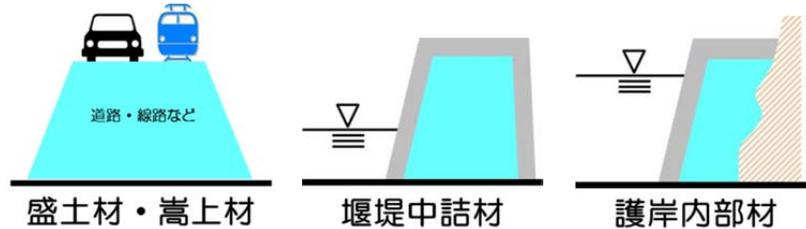


整理 No.	18	分類	コンクリートがれき，津波堆積土砂		
会社名	大成建設株式会社				
担当者	堀口賢一，松元淳一，丸屋剛				
連絡先	TEL	045-814-7228	FAX	045-814-7253	
	E-mail	kenichi.horiguchi@sakura.taisei.co.jp			
技術の名称	コンクリートがれきのセメント硬化体としての有効利用技術				
概要 (150字程度)	本開発技術は，東日本大震災で発生したコンクリートがれきと津波堆積土砂を建設資材として有効活用することを目的として開発したものである．集積されたコンクリートがれきは，津波堆積土砂を含むものが多いが，本技術ではそれらを一体で破砕し，粒度調整せずにセメントや水と混合して用いることを特徴としている．				
技術登録等	なし				
技術の概要	<p>■適用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートがれきを最大寸法 80mm 程度に破砕して使用する． ・基本的に津波堆積土砂を分級，粒度調整をせずに使用する．ただし，細粒分が不足する場合は津波堆積土砂を加えることもできる． ・スランプ 0cm の超硬練りコンクリートと同様に，敷均し，転圧締固めにより施工する． 				
次頁あり	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>①コンクリートがれきの破砕</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>②セメント・水との混合</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>③撒出し・敷均し</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>④転圧締固め</p> </div> </div>				

■主な用途

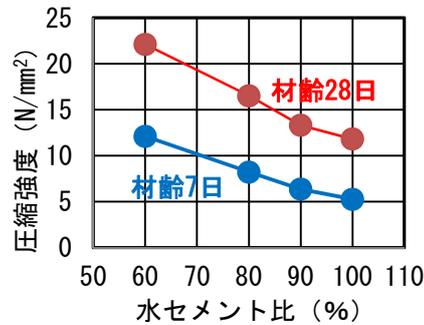
- ・ブルドーザでの敷均し，振動ローラーでの転圧締固めができる，平面的な広さを有する構造物．
- ・必要な圧縮強度が 10N/mm² 程度以下の構造物．

【適用可能な構造物の例】



■配合選定の方法

- ・必要な圧縮強度に応じて水セメント比を選定．



- ・締固め性試験により適切な単位セメント量，単位水量を選定．

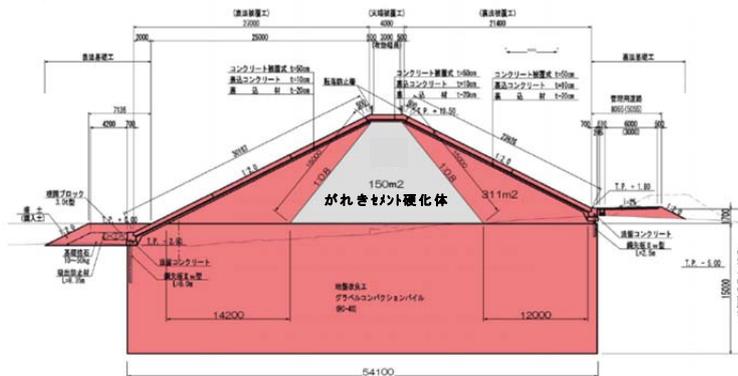


締固め性が
良好な配合



締固め性が
不良な配合

■コスト試算



上記のような断面の防潮堤の場合，材工で¥15,000/m³程度と試算．

技術の概要
(つづき)